

2022年11月24日

第22回 日中韓三カ国会計基準設定主体会議を開催

2022年日中韓三カ国会計基準設定主体会議が11月9日にビデオ会議で開催されました。本会議には、企業会計基準委員会（ASBJ）の川西安喜委員長、中国会計准则委員会（CASC）の Juan Zhang 副司長、韓国会計基準委員会（KASB）の Eui-Hyung Kim 委員長をはじめとする3カ国の代表者が参加し、香港及びマカオからは、香港公認会計士協会の Gary Stevenson 財務報告準則委員会委員長及びマカオ会計士委員会の Pou Man Ng 委員が参加しました。また、国際会計基準審議会（IASB）の Jianqiao Lu 理事、鈴木理加理事及び IASB の理事に就任することが発表された Patrina Buchanan 氏が本会議に参加しました。

日本、中国、韓国及び香港の代表者は、IFRS の適用の進捗状況及び各法域における会計基準の開発に関する最近の活動状況を報告したほか、基本財務諸表、暗号資産、及びリースについて、生産的で詳細な議論を行いました。

今回の会議で、代表者たちは次の事項について協力していくことで合意しました。

1. 単一の高品質なグローバルな会計基準としての IFRS へのコミットメントを強化すること。
2. IASB の作業に貢献するため、潜在的な基準設定上の論点を積極的に識別してリサーチを行い、IASB の主要プロジェクトの議論に積極的に参加すること。
3. 地域における IFRS の一貫した適用を可能にするため、意見及び経験を共有することを目的として、三カ国間のコミュニケーションを強化すること。

三カ国の代表者は、対面による会議が望ましい点で合意に至り、次回の会議は、2023年後半に中国で開催される予定であることが発表されました。COVID-19 のためにビデオ会議形式で開催する必要がある場合も、中国が主催する予定です。

以上